

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	でいさーびす あいりんご城		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 1日		～ R7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33人	(回答者数) 23人
○従業者評価実施期間	R7年 2月 1日		～ R7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	四季折々の自然を感じられる豊かな環境に囲まれています。この恵まれた立地を活かし、利用者の皆さまにとって心身ともに健やかに過ごせる場を提供しています。四季折々の自然を感じられる豊かな環境に囲まれています。この恵まれた立地を最大限に活かし、利用者の皆さまにとって心身ともに健やかに過ごせる場で活動しています。	自然豊かな環境を活かしながら、発達障害を持つ児童一人ひとりの特性に応じた支援を行っています。 ・感覚統合を促す活動 ・視覚的な支援を活用した安心できる環境	・複数の活動から選べる環境 ・活動の自由度を調整 ・個別のルーティンを尊重
2	利用者一人ひとりの特性や状況に応じた柔軟な対応を大切にしています。日々の活動やスケジュールを画一的に決めるのではなく、その日の体調や気分、発達の特性に応じて、最適な環境と支援を提供できるよう努めています。	・利用者ごとの最適なスケジュール調整 ・急な変更にも対応できる柔軟な仕組み ・個々の興味・関心に応じた活動を用意 ・視覚的なスケジュールで安心感を提供	・個別支援計画をよりきめ細かく見直し、成功体験を増やす ・静かに過ごせる環境や感覚過敏への配慮を強化 ・活動の選択肢を増やし、より多様な経験ができる場を提供 ・実保護者支援を拡充し、家庭との連携をより深める ・スタッフ研修を強化し、支援の専門性をさらに向上
3	さまざまなご家庭の環境に配慮し、保護者様や利用者様の意見を尊重しながら安心して通所できる環境を作り、各ご家庭や一人ひとりに合ったサポートを行っています。	・一人ひとりのニーズに寄り添った柔軟なサポート ・面談やフィードバックを実施 ・各家庭の状況に合わせた送迎や時間調整などの柔軟な対応	・利用者や保護者の声を反映する仕組みの充実(定期アンケート、意見交換会の実施) ・サポート体制のさらなる強化(専門職との連携や新たな支援プログラムの導入) ・職員のスキルアップ(研修の充実、専門的知識の向上)

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリー化ができていない。	事業所が山の上にある為、坂や段差が多い。 施設内でも階段が急であったり、段差が多いので利用者様によっては不安がある。	駐車場から事業所までの道は坂が急なので、職員と手を繋ぐ事と声掛けをする事を職員間で共有します。 外階段や室内の階段にも手すりをつけるなど検討していきたい。
2	保護者様同士の交流や、ペアレントトレーニングの場を作ることが出来ていない。	お仕事の関係もあり、各ご家庭に配慮した形での日程調整が難しい。	社外研修で職員が学んだことを保護者様に情報提供をする機会を設けたい。
3	保育園、幼稚園等との交流や、近隣の方との交流の機会がない。	事業所の周りにどんな施設があるのか把握できていないので、情報収集をする。	事業所内に広い庭があるので、そこに招待するなど交流を深めていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 できさーびす あいりんご城

公表日 令和7年 3月 26日

利用児童数 33人

回収数 23人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	74%	26%	0%	0%	広い部屋があり、日中、デイの部屋もきちんと分かれている	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	57%	26%	0%	17%	具体的にどのくらいいるかは分からないが児童が困っている様子はない	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	57%	43%	0%	0%	階段や坂が少し急。ホワイトボードを使用していたり、児童それぞれの靴箱があり分かりやすい	手すりをつけるなど、もう少し安全に配慮できたらと思う
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	78%	22%	0%	0%	いつも綺麗に掃除されていて、室内も庭も過ごしやすそうだと思う	今後も毎日掃除の時間を作り、清潔を保っていこうと思う
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	50%	36%	0%	14%	気持ちに寄り添ってくれ、本人への配慮もしてくれている	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	52%	31%	0%	17%	専門の支援を受けている	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	65%	31%	0%	4%	しっかり時間を作ってくれているので意見を伝えられる	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	57%	22%	0%	21%	家や学校での困り事も丁寧にきいてくれる	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	56%	22%	0%	22%	行われていると思うが具体的な事はわからない	どのような計画をしてどのような支援を行っているのかをもっとしっかり伝えるようにしていきたい
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	91%	0%	0%	9%	活動内容がたくさんあり、色々工夫されていると思う	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	22%	26%	0%	30%	特に聞いたことはない	今後取り入れていきたい
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	65%	30%	0%	5%	契約時に丁寧に説明していただいた	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	61%	30%	0%	9%	時間を作って説明してくれたと思う	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	39%	22%	0%	22%	分からない	今はまだそういった機会がないので、今後取り入れていきたい
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	65%	35%	0%	0%	送迎時などにデイでの様子を教えてくれるのでありがたい	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	57%	43%	0%	0%	相談はできるが助言まではわからない	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	65%	35%	0%	0%	本人の思いを考えてくれていると思う	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	48%	22%	13%	17%	特に聞いたことはない	今後取り入れていきたい
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	65%	35%	0%	0%	迅速な対応はされているが、体制まではわからない	周知・説明が不十分な所があるので伝えていくようにする	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	65%	35%	0%	0%	十分配慮されていると思う	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	61%	22%	0%	17%	連絡帳やインスタ、ブログで活動の様子がわかっていいと思う	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	78%	22%	0%	0%	気を付けてくれている	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	57%	34%	0%	9%	マニュアルがあるかは分からない	マニュアルは作成しているが、周知ができていないため保護者の方へ伝えるようにする
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	70%	22%	0%	8%	定期的に避難訓練が行われている	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	56%	35%	0%	9%	具体的な計画はわかりませんが、安全は十分に確保されていると思う	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	96%	0%	0%	4%	小さな出来事でもその日のうちに伝えてくれている	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	96%	4%	0%	0%	話しやすい職員の方が多く、安心して通所できている	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%	色んな活動があり、いつも楽しく通っている	ありがとうございます 今後も楽しく通えるように工夫していきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	96%	4%	0%	0%	満足している	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	でいさーびす あいりんご城		公表日		令和 7年 3月 26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	83%	17%	活動・勉強部屋を分け、スペースを確保している。活動によっては少し狭いと感じることもある	特になし
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	児童によって職員を付けたりと適切な人数で行えていると思う	特になし
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	34%	66%	階段や段差が多い為、バリアフリー化はできていない	階段に手すりをつけるなど、もう少し安全に配慮したい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日掃除をして、整理整頓と清潔を保っている	特になし
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	不穏になった時や、児童に合わせて個別対応ができるようにしている	特になし
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	それぞれ目標設定をし、定期的に振り返りを行っている	特になし
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者向けの評価表を配布し、共有し把握している	特になし
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎日申し送りを行い、意見交換や情報共有を行っている	特になし
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%	把握していない	外部評価をしているかわからないので、行う必要がある
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月研修を行い、参加する職員が固定にならないようにしている	特になし
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	83%	17%	作成後は保護者に確認をしてもらっている	特になし
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	モニタリングをしっかり行い、その児童と保護者に合った計画書を作成できている	特になし
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	職員全体で会議を行い、意見を出し合い検討している	特になし
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	83%	17%	職員間で共有し支援している	計画書が作成できたら、必ず職員に声掛けをし全員に目を通してもらうようにする
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	83%	17%	標準化されたツールはよく分からないが、日々児童の状況は把握している	ツールを使用したアセスメント等はできていないと思うので、する必要がある
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	それぞれの児童に必要な支援を考え、適切な支援内容を設定し行っている	特になし
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	会議でお互いの分野から意見を出し合い決めている	特になし
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	会議で活動カレンダーを作り、季節の活動を取り入れたりして固定化しないように工夫している	特になし

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	その児童の状況に応じて適切な支援で行われている	特になし
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	83%	17%	毎日申し送りで行話し合っている	まれに活動準備など職員1人に偏ってしまう事がある為、平等に分担できるようにする
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83%	17%	支援後にはなかなか行えないので、次の日にするようにしている	特になし
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	83%	17%	申し送りで出た内容については記録を残している	日々の活動の記録は残せていないので、する必要はある
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	半年に1回モニタリングを行い見直しをしている	特になし
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100%	0%	職員で話し合い、ガイドラインに沿って支援を行っている	特になし
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	児童の様々な力が伸ばせるような工夫をしている。選択肢を何個か提案するなどして取り組みやすくしている	特になし
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	管理者等、理解している方が参加している	特になし
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	67%	33%	よくわからない	あまり把握できていないので、今後しっかり把握して体制を整えていきたい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学年日よりなど配布物を確認して、不明な場合は学校に問い合わせをしている	特になし
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	50%	就学前の保育所等との情報共有は出来ていない	ほとんど取り組めていないので、必要がある
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	83%	17%	障がい福祉サービスを利用する児童は情報共有をするようにしている	特になし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	83%	17%	研修の機会は設けられている	特になし
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	児童クラブなどの交流は今までになかった	今後そういった機会を増やしていきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	67%	33%	管理者の方が参加されている	特になし
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	毎日送迎の際にその日の状況を伝えている	特になし
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	家族の方が参加できる研修の機会は少ないように感じる	職員が参加する研修は行っているのですが、今後こういった研修があるといったお知らせがあってもいいのではと思う
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に行っている	特になし
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	67%	33%	モニタリング時に保護者の方とは話す機会があるが本人と話すことは少ない	家族の意向をきいて支援を組む事はあっても本人の意向を聞くことが少ないように思うので取り入れていきたい
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	83%	17%	説明し同意を得ている	特になし
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	その時の必要に応じて時間を設けている	特になし

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	17%	83%	父母の会などのそういった機会はなかった	なかなか保護者会など開催できていないので、今後そういった機会をつくっていきたい
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情があった際には適切に対応し、自分で判断できない場合は管理者の方へ相談している	特になし
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	ブログやインスタを活用して、普段の活動の様子を発信している	特になし
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	鍵付きの書庫に入れるなどして十分に注意している	特になし
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	絵カードを使用するなどして分かりやすくしている	特になし
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	83%	17%	年に1度大きなイベントを行い、地域の方と交流を図っている	特になし
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	83%	17%	マニュアルを作成しいつでも確認できるところへ保管している	マニュアルはあるが、各ご家庭へ周知は出来ていないので伝えていきたいと思う
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	避難訓練は定期的に行っている	救出訓練はされていないので、今後も継続していく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	職員間で共有し、変更なども確認するようにしている	特になし
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83%	17%	アレルギーがある児童には別のものを用意するなどして対応している	特になし
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	83%	17%	安全管理をした上で支援を行っている	特になし
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	83%	17%	安全確保のもと支援を行っていることを家族の方へ周知している	特になし
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットを作成し全職員に共有し検討ができています	特になし
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置し、研修も定期的に行われている	特になし
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	83%	17%	やむを得ずの身体拘束については、契約時に保護者の方へ事前に説明をしている	特になし	